事業所名 グループホーム安心いちたけ

作成日: 令和 4 年 4 月 1 日

目標達成計画票(事業所記入)

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先 順位		現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に 要する期間
1	3	〇事業所の力を活かした地域貢献 認知症ケアに関する知識や 経験の蓄積を地域の人々に 向けて活かす活動ができていない。	実践を通じて積み上げている認知症の方の理解や支援の方法を、地域の方々に向けて活かすことができる。	・地域の方が見学に来られたり相談があれば随時、支援方法等のアドバイスを行う。 ・鳥栖地区高齢者グループホーム事業所連絡協議会への加入と活動を通じて地域に向けた情報発信と事業所間の情報共有を行う。	12ヶ月
2	12	○就業環境の整備 やりがいや向上心を支援する 取り組みを強化したい。	努力や実績に応じて給与に 反映させる取組みの実践と 共に、個々に目標を定めて やりがいや向上心を強化す る。	・支援金や処遇改善加算等の 給与水準を向上させ、職員へと 還元できる財源の積極的取 得。 ・家庭環境や本人の事情に配 慮した対応。	12ヶ月
3	13	〇職員を育てる取り組み 個々の課題の把握やフィード バックが不足している。	個々の課題を把握して受ける研修の提案やフィード バックができるようにする。 管理者や職員の双方が課 題を理解できるように評価 の見える化をする。	・定期的な面談にて職員個々のケアの現状や力量、改善点等を把握し研修への参加を促す。 ・課題や評価について理解度を高めるために数値化・文章化を進めていく。	12ヶ月
4	35	○災害対策 火事や地震、風水害時に昼 夜問わず地域と協力できる体 制構築ができていない。	災害時には地域住民と互 いに助け合える関係性を築 く。	・自治体や消防団と顔なじみの 関係性を築く。 ・運営推進会議で話し合う場を 設ける。	12ヶ月
5	49	〇日常的な外出支援 一人ひとりの希望に沿って、 戸外に出かけられるような支 援や普段は行けないような場 所への外出機会の提供がで きていない。	普段は行けないような場所 への外出機会を設けること ができるようにする。	・家族や地域の人々と協力しながら出かけられる体制を築く。	12ヶ月

注1)項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入してください。

注2)項目数が足りない場合は、行を追加してください。